

公益財団法人まちみらい千代田
第10期第2回評議員会 議事録

1 日時

令和4年12月21日(水)午前10時から午前10時45分

2 場所

ちよだプラットフォームスクウェア 5階 506 会議室

上記の開催場所に存しない評議員は、当法人所定のウェブ会議システムを用いて評議員会に出席した。

3 評議員現在数

9名

4 出席者

(1) 評議員(8名)

鈴木潔(会長)、鎌倉勤(副会長)、親泊哲、熊谷エイ、高橋陽子、高山肇、谷真理子、山本久喜

[欠席者] 脇宗一郎

(2) 理事(1名)

保科彰吾(理事長)

(3) 事務局(4名)

猿渡裕司事務局長、堀切俊秀グループマネージャー(以下、「GM」という。)、加藤英明GM、
本橋千佐子GM

5 議題

[報告事項]

(1) 第10期事業実施状況中間報告

6 開会、理事長あいさつ、定足数確認、議事録署名人の選任

開会に先立ち、ウェブ会議システムにより、出席者の音声と画像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態になっていることを事務局が確認した。また、配付資料の確認を行った。

定款第25条により、評議員会の議長を務める鈴木会長が開会を宣言し、保科理事長にあいさつを求めた。保科理事長はあいさつの中で、千代田ビジネス大賞の進捗報告と令和5年1月に開催予定の10周年記念講演会の説明を行った。

次に議長が本日の出席評議員について、事務局に報告を求めた。事務局から出席者と定款第26条の規定に定める定足数を満たしていることを報告し、議長が本評議員会は有効に成立している旨を告げた。

次に本評議員会の議事録署名人として、事務局から定款第 30 条第 2 項の規定により、本日出席の鎌倉評議員と谷評議員の 2 名を提案したところ、満場一致の賛成があり、議長が両評議員を指名したところ、本人もこれを承諾した。その後、議題に入った。

7 議事の経過および結果

(1) 第 10 期事業実施状況中間報告

保科理事長が、第 10 期事業実施状況中間報告書をもとに報告を行った。

なお、報告後に以下のような質疑があった。

(評議員)

「総合相談窓口の設置」における最近の相談内容を教えてほしい。また、それらの相談内容はデータベース化し、活用できる状態になっているのか。

(事務局)

これまでは、管理組合の運営についての相談が多かった。しかし、最近は区内に高経年マンションが多いことから、建替えと長寿命化など、項目が混在した相談が多い傾向にある。なお、相談内容はリスト化しており、相談から「まちづくりアドバイザーの派遣」につなげて、専門家による継続的なアドバイスをを行っている。

(評議員)

「千代田ビジネス大賞」の応募企業は 38 社で例年より増加しているが、その要因は何かあるのか。また、応募企業が増加する中で、審査は何社まで対応できるのか。

(事務局)

以前から展示会等に出展している千代田区内の企業に事業の紹介を行っていることが、増加の要因の一つと考えている。近年は、受賞を目的とせずに自社の製品等の PR を積極的に行いたいという企業の応募が増えてきた印象がある。また、審査はこれまで多いときで 30 社に対応してきた。

(評議員)

すでに事業目標を達成している「マンション劣化診断調査費助成」の申請件数の増加理由を教えてほしい。「大規模修繕工事の実施時期のマンションが多い」「マンション管理適正化法の改正に伴い、管理計画の認定制度の運用開始」など、いくつかその要因を推測することができる。今後は状況に応じて、予算枠等の見直しを行ってほしい。

(事務局)

数年後に大規模修繕工事を計画しているという申請理由が大半を占めている。千代田区では、令和 5 年 4 月からマンション管理計画の認定の開始を予定している。現在、その認定制度の詳細は公表されていないことから「マンション劣化診断調査費助成」の申請件数の増加の要因ではないと思われる。なお、認定基準をみると長期修繕計画の比重が大きいことから、今後、劣化診断調査と長期修繕計画の見直しを行うマンションが増加すると考えている。

(評議員)

ビジネス起業塾は、募集開始からすぐに定員に達するとのことなので、コースや回数、定員数を増やすことを検討してほしい。もしもそれらの対応が難しい場合は、理由を教えてください。

(事務局)

これまで応募者や受講者のニーズに応える形で3コースまで増やした。1つのコースが全9回となっており、そのことを踏まえるとコースを増やすことは現実的に厳しい状況にある。また、3コース以外に専門講座を実施していることもコース等を増やすことが難しい要因になっている。定員は、講師の目が届き、同じ志を持った受講者同士のコミュニケーションを大切にしていることから、もっとも適しているのが定員20名だと考えている。ただし、これまでの実施状況や評議員の意見を踏まえ、良い事業となるようにさまざまなことを今後も検討する。

8 閉会

以上、本日のウェブ会議システムを用いた本評議員会は、終始異常なく議案の審議を終了したので、午前10時45分に議長は閉会を宣言した。

上記の決議を明確にするため、議長および評議員がこれに署名、押印する。

令和4年12月21日

公益財団法人まちみらい千代田
第10期第2回評議員会

議 長 鈴 木 潔 ⑩

議事録署名人 鎌 倉 勤 ⑩

議事録署名人 谷 眞 理 子 ⑩